

(報道発表)

2025年2月7日

学校法人一川学園 清和学園高等学校
東日本電信電話株式会社 埼玉西支店

マイスター・ハイスクール指定校の清和学園高校の生徒が 越生町の名産品を使ったチョコレートを 企画・開発・販売し地元を盛り上げ！ ～清和チョコレートプロジェクト 2025～

埼玉県入間郡越生町 学校法人一川学園 清和学園高等学校（理事長：一川 高一、以下「清和学園高校」）、東日本電信電話株式会社埼玉西支店（支店長：山崎 大二郎、以下「NTT 東日本」）は、埼玉県入間郡越生町と2023年6月29日に協定を締結し※1、文部科学省「マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）」として、清和学園高校の生徒に向けた「人材育成プロジェクト」に産官学連携で取り組んでいます。

「清和チョコレートプロジェクト 2025」は、マイスター・ハイスクール事業の一環として越生町の地域課題解決を目指し、地元の名産品を使ったチョコレートを開発・販売するもので、昨年に続き2回目になります。

清和学園高校調理科2年生の生徒が越生町職員や地元企業から越生町の名産品である梅・ゆずの現状や課題を学び、地域の6次産業商品である梅ジャムやゆずジャム、はちみつ等を使ったオリジナルチョコレートレシピを開発しました。このレシピで試作品※2をつくり、越生町長やマイスター・ハイスクール関係者、百貨店バイヤー等による審査会で選ばれた優秀作品の3作品のチョコレートをアソート・パッケージ化しました。地域の特産物を使った商品の開発から製造・販売PRまで生徒自ら行う事で、自ら地域の課題を発見し解決していく力を育てています。

チョコレートは、一般のお客様向けとして越生町の各種施設や百貨店で販売するとともに、カリキュラム開発や取り組み統括を行うNTT 東日本や特別授業を実施した協力企業での社員向け販売も実施します。

<清和学園チョコレートプロジェクト 2025 イメージ>



越生町の6次産業商品である梅ジャムやゆずジャム、はちみつ等を活用



生徒が開発したレシピにてチョコレートを製作



審査会に向けて試作されたチョコレート



審査会でのプレゼンテーション



試食し、審査をする審査員たち



優秀作品に選ばれた3作品をアソート・パッケージ化

- **販売商品：ボンボンショコラ ～至福のひとつとき～1,200円**
 名産品の梅のチョコレート2品・ゆずのチョコレート1品の3個入り



➤ **販売場所・販売期間**

日程	販売場所	備考	生徒の販売
2/8～2/11	丸広百貨店 川越店 (5階催事場)	各日指定数のみの販売	2/8～2/11
2/8～2/14	うめその梅の駅 [越生自然休養村センター]	各日指定数のみの販売	2/8、2/9
2/8～	OTIC (オーティック) [越生町インフォメーションセンター]	無くなり次第販売終了	—
2/10	NTT 東日本 埼玉支店 社員食堂 [NTT さいたま新常盤ビル2階] 他1社	社員向けの販売 (参考掲載)	2/10

※1<https://www.ntt-east.co.jp/saitama/news/detail/pdf/hp20230629.pdf>

※2 チョコレートの製造にあたっては、チョコレートレシピ開発の授業で技術指導にご協力いただいた、学校法人村川学園の山手調理製菓専門学校と共同で実施しました。

<マイスター・ハイスクール事業について>

文部科学省では、専門高校等と成長産業化に向けた革新を図る産業界等が一体となり、地域の持続的な成長を牽引し、絶えず進化する最先端の職業人材育成を推進し、成果モデルを示すことで、全国各地で地域特性を踏まえた取り組みを加速化させることを目的とした「マイスター・ハイスクール事業」を令和3年度より開始しました。先進的な取り組みを行う専門高校等をマイスター・ハイスクールに指定し、実践研究を行うもので、指定期間は原則3年間です。

つぎのミライは、
 あなたの街から
 はじまる。

NTT東日本グループ